

YOSHIO FARM

猛暑だけど
みんなでやったら
楽しすぎた！

今回、市内岩木地区熊嶋にある YOSHIO ファームさんにご協力いただき、野外体験実習を実施しました。メロン栽培の後のハウスをみんなで片付け、そこで生まれるコミュニケーションの経験と参加した方が楽しんでいただければと、園主の齋藤さんと企画しました。

農業に興味がある方や、やってみたいと参加してくれた3名と職員4名の合わせて7名が参加。自転車で来る方もいて共に自転車で園地に向かいました。



before

作業前のビニールハウスです。ここからみんなで次のシーズンに向けて片付けましょう！！

explanation

みんなで自己紹介のあと、作業の流れを齋藤さんにご説明していただきました。参加したみなさんはもちろん職員も真剣に聞いています！職員と参加した方の垣根がなく、みんなで一緒にやっています。



Put away

乾燥したメロンのつるや葉を運搬車に乗せて、片付けます。齋藤さんが運搬車を操縦し、みんなでつるや葉をぐっとひっぱります。下からコオロギが元気いっぱいに出現！虫が苦手な方もいましたが、わいわい騒がしく運搬車へを乗せていきます。

fold

次に長いビニールシートを**畳んで**いきます。一人ではできない作業です。声を掛け合って、タイミングを合わせて畳んでいきます。お互いにどちらにシートを持っていくか、声を掛け合う作業が体験できてとてもよかったですと思います。みんながそれぞれ動いているようでつながっている、形が見えてくる。自然なコミュニケーションが生まれました。



Put together

ホースを掘り起こし、伸ばして、ハウスの脇に**まとめて**いきます。長いホースなので、みんなで間隔ごとに持ち上げ、齋藤さんの掛け声に合わせて束ねていきます。一人では出来ない作業をみんなでする楽しさ、達成感を味わう事ができました。

Put in

ビニールシートを協力しながら袋に**入れて**いきます。2人~3人で作業していきます。袋を運搬車に乗せて、ハウスの片付け作業が終了しました。自然とみんな笑顔になりました。



Small talk

作業が終わり、みんなで齋藤さんの作ったイチゴを頂きながら**雑談**タイム。イチゴがとっても美味しかったです。園地の名前由来や、農業を始めたキッカケ、農業の前はどんな仕事をしていたのか等、齋藤さんにお話を伺いました。みなさん疲れた様子も見せず、来た時よりも元気に帰って行きました。



センターでお仕事を探している方の中には、コミュニケーションや人間関係を築くことに不安を感じる方が多くいます。働く=コミュニケーションという意識が強く、前向きになれない方でも、色々な場面を経験することで適度な距離感を見つけ、必要以上にコミュニケーションを取るのではなく自然体で自分のちょうどいいを接し方を見つけることが出来る野外体験だったと思います。園主の齋藤さんには訪問の度、勉強させていただき、このような機会のご提案に感謝致します。

職業理解を深めるには実際にやってみることが大切です。不安をすべて解消することは出来ないかもしれませんが、人との関わりで少しでも前向きに仕事への一歩、挑戦することができるようご登録の企業さまと連携しながら、今後も職場見学や就労体験、または新しい仕事へ触れる機会を作る等、人材のサポートをしてまいります。